

第4回日本臨床倫理学会年次大会
現場で活かす 臨床倫理
 2016/3/5(土)・6(日) 会場：日本赤十字看護大学
 大会長：富田 博樹 (日本赤十字社)

事前参加申込
 受付延長
 1/29まで

開催日

2016年3月5日(土), 6日(日)

開催会場

[日本赤十字看護大学 広尾キャンパス](#) (東京都渋谷区広尾4丁目1番3号)

大会長

富田 博樹 (日本赤十字社)

プログラム

2016年3月5日(土) : 第1日目

第1会場/1F・広尾ホール

13:00~13:10	開会あいさつ
大会長	富田 博樹(日本赤十字社)
13:10~14:10	基調講演「人道と赤十字活動」
座長	富田 博樹(日本赤十字社)
演者	近衛 忠輝(日本赤十字社)
14:20~15:50	シンポジウム 1「病院運営における倫理的諸問題の現状と展望」
座長	矢野 真(日本赤十字社)
病院における患者の権利擁護のための仕組み構築と職員教育	
演者	林 泰広(聖隷横浜病院)

トップダウン型倫理問題対応・倫理教育からボトムアップ型へ	
演 者	瀧本 禎之(東京大学大学院医学系研究科 医療倫理学/東京大学医学部附属病院 患者相談・臨床倫理センター)
臨床場面での倫理的問題に対応する看護職の役割と課題	
演 者	市川 幾恵(昭和大学統括看護部)
16:00~17:30	シンポジウム 2「各医療機関における倫理的課題への取り組み」
座 長	稲葉 一人(中京大学法科大学院)
急性期病院における倫理的課題への取り組み;現場を支える倫理コンサルテーションチーム	
演 者	三上 容司(横浜労災病院 運動器センター)
横浜労災病院倫理コンサルテーションチーム活動の実際について	
演 者	馬場 葉子(横浜労災病院)
組織で支える臨床倫理活動;名古屋第二赤十字病院の倫理コンサルテーションチーム活動について	
演 者	野口 善令(名古屋第二赤十字病院) 佐藤仁 and 子(名古屋第二赤十字病院)
栃木県立がんセンターにおける臨床倫理の取り組みと課題	
演 者	清水 秀昭(栃木県立がんセンター) 永井智恵美(栃木県立がんセンター)

第2会場/2F・202 講義室

14:20~15:50	倫理コンサルテーション 1:在宅医療・訪問看護・地域包括ケア 訪問看護師の悩み「在宅医療になった肺がん患者の治療方針決定プロセスの適切性について」
座 長 (ファシリテーター)	箕岡 真子(東京大学大学院/箕岡医院) 稲葉 一人(中京大学法科大学院)
事例提供 (相談者)	西田 伸一(医療法人社団梶社会西田医院) 井上 京子(公益社団法人調布市医師会訪問看護ステーション)
16:00~17:30	倫理コンサルテーション 3:在宅医療・訪問看護・地域包括ケア 訪問看護師の悩み「一人暮らしの末期すい臓がん患者の在宅看取り」;独居の末期がん患者をどのように支えるのか

座長 (ファシリテーター)	箕岡 真子(東京大学大学院/箕岡医院)
事例提供 (相談者)	小倉 和代(一橋病院訪問看護ステーション)

第3会場/2F・206 講義室

14:20~15:50	倫理コンサルテーション 2:介護・看護 介護現場における「ウソ」
座長 (ファシリテーター)	竹下 啓(青山学院大学教育人間科学部)
事例提供 (相談者)	高野 朋子(特別養護老人ホームみずほの里)
16:00~17:30	倫理コンサルテーション 4:介護・看護 これって「研究」?
座長 (ファシリテーター)	竹下 啓(青山学院大学教育人間科学部)
事例提供 (相談者)	高野 朋子(特別養護老人ホームみずほの里)

懇親会/1F・学生食堂

18:00~20:00	懇親会
-------------	-----

2016年3月6日(日) : 第2日目

第1会場/1F・広尾ホール

9:00~10:30	シンポジウム 3「救命医療における倫理」
座長	有賀 徹(昭和大学病院)
高齢者救急における心肺蘇生法の問題;フレイルの知見を救急医療に活かす	
演者	会田 薫子(東京大学大学院人文社会系研究科死生学・応用倫理センター上廣講座)
病院救急車を利用した地域包括ケア促進のストラテジー	
演者	猪口 正孝(東京都医師会/社会医療法人社団正志会)
医師の倫理と専門家責任	
演者	木ノ元直樹(木ノ元総合法律事務所)
10:30~12:00	シンポジウム 4「認知症の人を対象とする研究倫理」ワーキンググループ」
座長	稲葉 一人(中京大学法科大学院)
シンポジスト	新田 國夫(医療法人社団つくし会) 箕岡 真子(東京大学大学院/箕岡医院) 竹下 啓(青山学院大学教育人間科学部)
12:30~13:30	ミドルセミナー1「循環器疾患における終末期医療」
座長	野々木 宏(静岡県立総合病院)
ガイドラインと倫理的課題	
演者	野々木 宏(静岡県立総合病院)
難治性心不全における在宅医療	
演者	弓野 大(ゆみのハートクリニック)
14:10~15:40	シンポジウム 5「臨床実践における多職種間の価値観の対立・葛藤に関する看護師の体験」
座長	高田 早苗(日本赤十字看護大学)
多職種間の医療とケアの話し合いのプロセス	
演者	長谷川美栄子(医療法人東札幌病院)
新生児臨床における多職種連携実践の現状と課題;医師の立場から	
演者	加部 一彦(埼玉医科大学総合医療センター)
看護師の体験から見える多職種間での倫理問題の特徴	
演者	吉田みつ子(日本赤十字看護大学)

15:40~15:50

閉会のあいさつ

第2会場/2F・202 講義室

9:00~10:30

倫理コンサルテーション 5:医療・看護
自殺企図による蘇生後脳症患者の治療方針

座長

稲葉 一人(中京大学法科大学院)

事例提供
(相談者)

明石 恵子(名古屋市立大学看護学部)
笠原 真弓(浜松医療センター 救命救急センター)
山口 均(大垣市民病院集中治療部)
小林 隆夫(浜松医療センター)
河井 友子(浜松医療センター)

10:30~12:00

倫理コンサルテーション 7:医療・看護
認知症機能低下を伴う ALS 患者の医療処置の選択;代理判断の適切性をどう判断したらよいか?

座長・演者

荻野美恵子(北里大学医学部附属新世紀医療開発センター横断的医療領域開発部門包括ケア全人医療学)

ファシリテーター

成田 有吾(三重大学医学部看護学科)
杉浦 真(安城更生病院 在宅診療部)
佐伯 晴子(東京 SP 研究会)
荻野 裕(国立病院機構箱根病院)

14:10~15:40

倫理コンサルテーション 9:医療・看護
在宅緩和ケアを推進し、本人・家族の希望を叶えるための地域多職種連携について、症例を通して考える

座長
(ファシリテーター)

三浦 靖彦(東京慈恵会医科大学附属柏病院総合診療部)

事例提供
(相談者)

井上 俊之(医療法人社団エトワール会たんぽぽクリニック)
黒木美和子(医療法人社団永寿会 三鷹中央リハケア訪問看護ステーション)
加藤 充良(医療法人社団充会 三鷹市三鷹駅周辺地域包括支援センター)
麻生喜美江(社会福祉法人三鷹市社会福祉事業団 はなかいどう指定居宅介護支援事業所)

第3会場/2F・206 講義室

9:00~10:30	<p>倫理コンサルテーション 6:医療・看護 認知症終末期における家族による代理判断支援;繰り返す誤嚥性肺炎・経口摂取困難症例</p>
座長 (ファシリテーター)	齋藤 如由(医療法人社団五雲堂 齋藤醫院)
事例提供 (相談者)	小野 幸代(訪問看護ステーションつばさ)
10:30~12:00	<p>倫理コンサルテーション 8:介護・看護 遷延性意識障害患者の急変時の対応について</p>
司 会	三上 容司(横浜労災病院 運動器センター)
ファシリテーター	<p>津久井 要(横浜労災病院) 周藤 高(横浜労災病院) 中山 貴博(横浜労災病院) 宇田 淳子(横浜労災病院) 大椋 裕美(横浜労災病院) 馬場 葉子(横浜労災病院) 楠瀬まゆみ(東京大学医科学研究所 公共政策研究分野)</p>
14:10~15:40	<p>倫理コンサルテーション 10:医療・看護 クロイツフェルト・ヤコブ病における病名告知</p>
座長 (ファシリテーター)	板井 孝彦郎(宮崎大学大学院医学獣医学総合研究科・医療倫理学分野/宮崎大学医学部 附属病院)
事例提供 (相談者)	下畑 享良(新潟大学脳研究所神経内科)

第4会場/2F・201 講義室

8:00~ 8:50	<p>早朝セミナー「いまさら聞けない臨床倫理;臨床倫理の Trivia トリビア」</p>
------------	-----------------------------------------------

座 長	新田 國夫(医療法人社団つくし会)
演 者	箕岡 真子(東京大学大学院/箕岡医院)
9:00~9:50	演題発表 1
座 長	呉屋 朝幸(小山記念病院)
1-1 地域包括ケアシステムを意識した臨床倫理の取組み;中規模公的病院の勉強会から臨床倫理委員会の立ち上げ・地域での取組み	
発表者	寺嶋 吉保(徳島県立三好病院 臨床倫理委員会)
1-2 臨床倫理 4 分割法カンファレンスでみる倫理的問題の分析	
発表者	足立 佳澄(倉敷医療生活協同組合 総合病院 水島協同病院)
1-3 当院における臨床倫理の活動の実践と今後の課題;全職種参加の臨床倫理四分割法を使つての事例検討会を開催して	
発表者	森田千賀子(倉敷医療生協 総合病院水島協同病院)
1-4 スタッフの倫理感性を高めるための取組み;よりよいケアを提供するために	
発表者	宮本 知佳(日本赤十字和歌山医療センター)
1-5 臨床倫理コンサルテーション依頼者から見た効果と課題について;コンサルテーション依頼者へのインタビューから	
発表者	佐藤仁和子(名古屋第二赤十字病院)
1-6 宮崎大学医学部附属病院臨床倫理部での倫理コンサルテーションの経験	
発表者	和田 美紀(医療法人横浜柏堤会 戸塚共立第1病院)
10:00~10:50	演題発表 2
座 長	小森 和子(日本赤十字社)
2-1 看護師の違和感から考える倫理的ジレンマ;療養者の家族との関わりを振り返って	
発表者	村本早都子(セコム新宿訪問看護ステーション)
2-2 看護職員がもつ倫理的課題に対する支援【第1報】;看護職員に対する実態調査から	
発表者	吉野 初恵(日本赤十字社 前橋赤十字病院)
2-3 看護職員がもつ倫理的課題に対する支援【第2報】;看護職員への支援と看護師長の実践能力向上を目指して	
発表者	村田亜夕美(日本赤十字社 前橋赤十字病院)
2-4 看護師長が体験したクリティカルケア領域の終末期における倫理的ジレンマの様相	
発表者	古谷麻実子(杏林大学保健学部看護学科)
2-5 看護職員が感じる臨床倫理問題に関する調査研究	
発表者	一戸 真子(埼玉学園大学)
11:00~11:50	演題発表 3
座 長	寺嶋 吉保(徳島県立中央病院)

3-1 平成 26 年度厚生労働省「人生の最終段階における医療体制整備事業」に参加して;意思決定支援に有用な体制整備のあり方	
発表者	宮坂佐和子(諏訪赤十字病院)
3-2 家族の看取りの意思決定の支えとなる認知症高齢者自らの語り;ホームホスピスという生活環境の影響要因	
発表者	人見 裕江(宝塚大学)
3-3 経口摂取が可能であるのに、経鼻胃管栄養が行われた認知症患者の一例;「終末期医療の決定プロセスに関するガイドライン」活用の必要性	
発表者	宮本 礼子(桜台明日佳病院認知症総合支援センター)
3-4 在宅胃瘻患者の経口摂取再開への取り組み	
発表者	古屋 裕康(日本歯科大学大学院生命歯学研究科臨床口腔機能学/日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック)
3-5 脳死下臓器提供ドナーの主治医を経験して感じる倫理的問題に対する考察	
発表者	神原 淳一(名古屋第二赤十字病院)
12:30~13:30	ミドルセミナー2「医療事故調査制度における法と倫理」 医療事故調査制度を巡る、法と倫理の交錯
座 長	山口 武兼(公益財団法人東京都保健医療公社豊島病院)
演 者	稲葉 一人(中京大学法科大学院)
13:40~14:10	総会
14:10~14:50	演題発表 4
座 長	山田 陽介(東京都保健医療公社豊島病院)
4-1 新生児のアドバンス・ケア・プランニングの検討	
発表者	井上みゆき(山梨県立大学)
4-2 死亡または親権能力の喪失が予測される患者の自己決定に基づく親権代行	
発表者	石川 博康(中通りハビリテーション病院精神科)
4-3 重症心身障害者の医療倫理;家庭的問題を抱える利用者の終末期医療への取り組み	
発表者	村尾 江美(枚方総合発達医療センター)
4-4 尊厳死をできなくする尊厳死法案	
発表者	宮本 顕二(北海道中央労災病院)